

FPまつもと通信

ちょっと得する「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

今年は土用の丑の日が2回あります。うなぎ好きの人は楽しみにしているかもしれませんね。

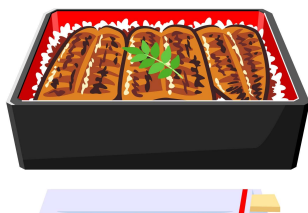
ところで、うなぎの旬は夏ではなく冬なのをご存知ですか？

秋から冬にかけて、水温が下がり冬眠に備えて栄養を蓄える、また、産卵期でもあり脂がのっているので美味しい時期と言われています。

旬ではない夏にうなぎを食べるようになったのは江戸時代からと言われています。

夏に売れ行きが落ちるうなぎ屋が平賀源内に相談したところ、「本日丑の日」という張り紙を店に貼るといわれて試したところ一気にうなぎの売れ行きが良くなったそうです。

丑の日に「う」のつく食べ物を食べると健康に過ごせるという言い伝えがあったのを上手く利用したのですね。



今月号の話題

資産運用ガイド

今月は外国株式と外国債券の特徴を整理してみました。特徴を理解しておけば大きな値動きでもパニックにならず長期保有ができるようになります。

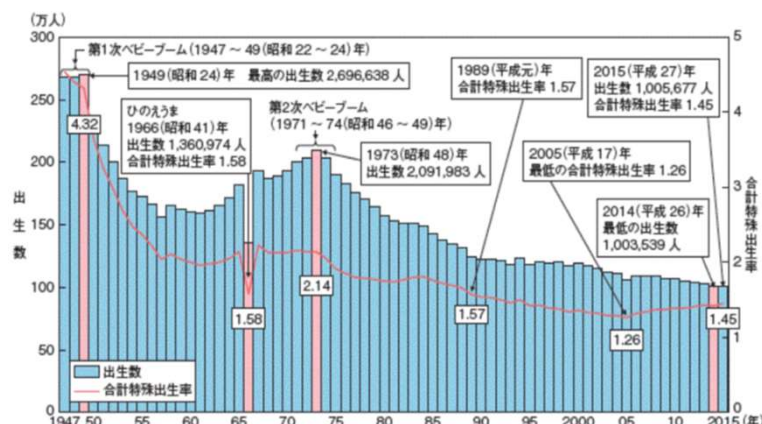
ちょっと気になるお金のコラム

長期の資産形成ではインフレを考慮することが大切と言われます。日本や世界で起こったインフレの話題です。

最近のニュースから

出生数最小 94.6万人に！！

厚生労働省が6月に発表した人口動態統計によると、2017年に生まれた子供の数は前年より3万人余り少ない94.6万人となり過去最低を更新しました。



内閣府HPより

いままでで最も出生数が多かったのは1949年で269万人が生まれています。現在の約3倍です。

原因としては、

- 晩婚化
 - 第2次ベビーブームに生まれた「団塊ジュニア」世代が40歳代半ばになり出産しなくなった
 - 出産適齢期の女性の数が減少している
- などが指摘されています。

出生数から死亡数を差し引いた人口の自然減は約39万人と過去最大の減少幅でした。

医療や年金などの社会保障制度は今後、人口減を前提にした制度への見直し議論が活発化しそうです。



FP 松本相談センター
CFP・IFA (金融商品仲介業)
媚山裕之

〒390-1702

長野県松本市梓川梓856-26

0263-76-1250 090-8741-7358

info@fp-matsumoto.com

<http://fp-matsumoto.com>

2000年からFP業務を行っています。現在は確定拠出年金の導入及び加入者の方のライフプラン相談、保険相談、資産形成支援業務を中心に活動しています。年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。特に生命保険は、ちょっと見直すだけで保険料は勿論保障内容も大きく変わります。是非ご相談ください。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

積立投資の推移



N社バランスファンドのデータによる（コスト控除後）

	積立合計額	株式75%	株式50%	株式25%
2018年4月末	140,000	145,632	143,541	140,976
2018年5月末	150,000	155,079	153,075	150,929
2018年6月末	160,000	164,522	162,611	160,550

2017年3月から開始した積立投資は右の図表のようになりました。

今年2月には米国の金利上昇ペースが早い、との懸念から大きく基準価額は下がりましたが、落ち着いてきたように見えます。

確定拠出年金のような長期の積立投資では、一時的な値下がりには気を取られることなく、以下の点だけ注意してじっくりと積立を継続しましょう。

投資期間に応じた資産配分

受取時期が近くなったら値動きが小さい債券の比率を多めにする。

積立期間が十分にある場合は、**値下がりしたら増額、株式への資産配分を増やす**ことを検討する。

米中貿易摩擦について

米国→中国：6月15日、総額500億米ドル、1,102品目の製品に対して25%の輸入関税をかけると発表。
中国→米国：6月16日、総額500億米ドル、659品目に対して25%の輸入関税をかける対抗措置を発表。
米国は、産業用ロボットや電子部品、自動車などで、米国の消費者への影響が大きい携帯電話やテレビなどは除かれています。一方、中国は米国の輸出の半分を占める大豆を含む農作物や自動車などとなっており、米国にとって影響が大きい品目が含まれています。全体への影響はまだ軽微とされていますが今後の展開次第では火種になるかもしれません。

先月に引き続き、株式と債券の値動きの特徴を整理したいと思います。

国内株式と国内債券では、以下の特徴がありました。

1. 大きい（小さい）プラスの月、大きい（小さい）マイナスの月、それなりの月がある
2. 株式は債券に比べて値動きが大きい

まずは**外国株式と外国債券**を比べてみます。次ページのグラフをご覧ください。グラフを見る限り、国内株式と国内債券と同様の特徴があるようです。

さらに国内と外国も比べてみましょう。

外国債券と国内債券

外国債券の方が値動きが大きいようです。債券としての特徴は国内の債券も外国の債券も同様です。

ただし、このグラフは円換算なので為替の変動が含まれています。従って外国債券は国内債券よりも円ベースでの値動きは大きくなる傾向があります。

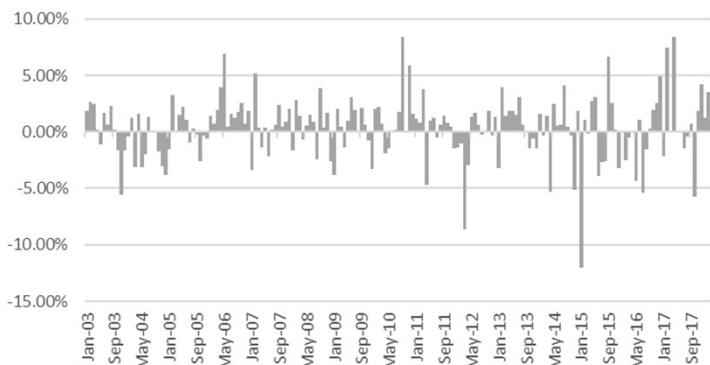
* 価格変動の大きさは為替だけでなく、対象としている債券の金利水準や残存期間（満期までの年数）によっても値動きの違いはでてきます。

外国株式と国内株式

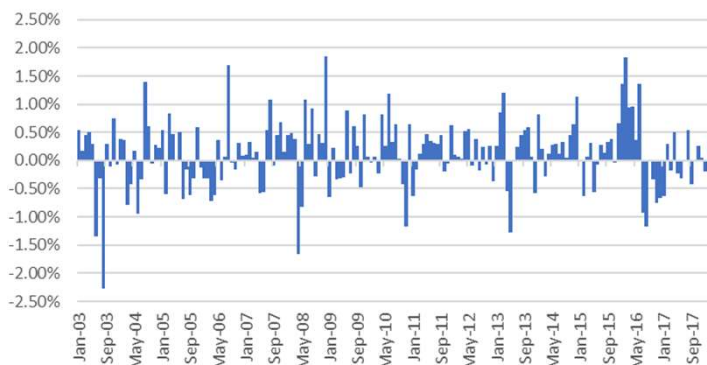
やや外国株式の方が値動きが大きいですが債券ほど明確な違いはないように見えます。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

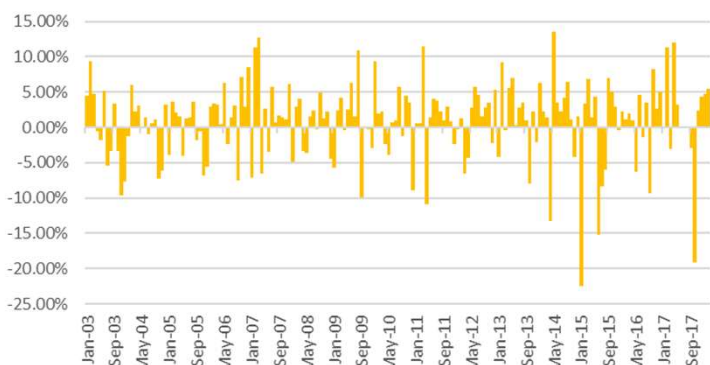
外国債券



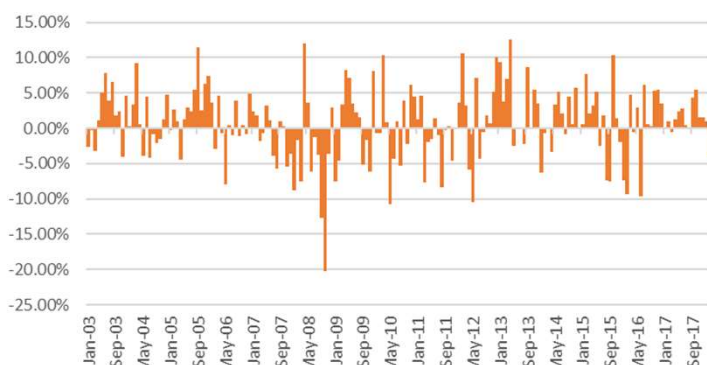
国内債券



外国株式



国内株式



毎月のリターン（プラスもマイナスも）の平均

国内債券：0.12%
国内株式：0.67%
外国債券：0.34%
外国株式：0.82%

182か月のリターンの合計

国内債券：21.83%
国内株式：121.61%
外国債券：61.21%
外国株式：148.75%

プラスの月の数

国内債券：112回
国内株式：108回
外国債券：114回
外国株式：118回

マイナスの月の数

国内債券：70回
国内株式：74回
外国債券：68回
外国株式：64回

最大のプラス

国内債券：1.84%（2008年12月）
国内株式：12.60%（2013年4月）
外国債券：8.43%
外国株式：13.62%

最大のマイナス

国内債券：-2.27%（2003年10月）
国内株式：-20.31%（2008年10月）
外国債券：-12%
外国株式：-22.42%

標準偏差

国内債券：0.6%
国内株式：5.02%
外国債券：2.69%
外国株式：5.41%

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

グラフと合わせて数字もみることで株式と債券の特徴がよくわかります。

特徴1

プラスの月もあればマイナスの月もある。10回のうち4回はマイナスである。

特徴2

毎月はプラスだったりマイナスだったりするが、182か月の平均はプラス。従って合計もプラスであった。

特徴3

値動きの幅は株式は大きく債券は小さい。ただし外国債券は為替の影響があるため国内債券より大きい。

特徴4

株式は良い時は、1か月でプラス10%を超える月もある。一方、悪い月はマイナスが20%を超える。外国債券も10%を超えるマイナスの月もあった。

特徴のまとめ

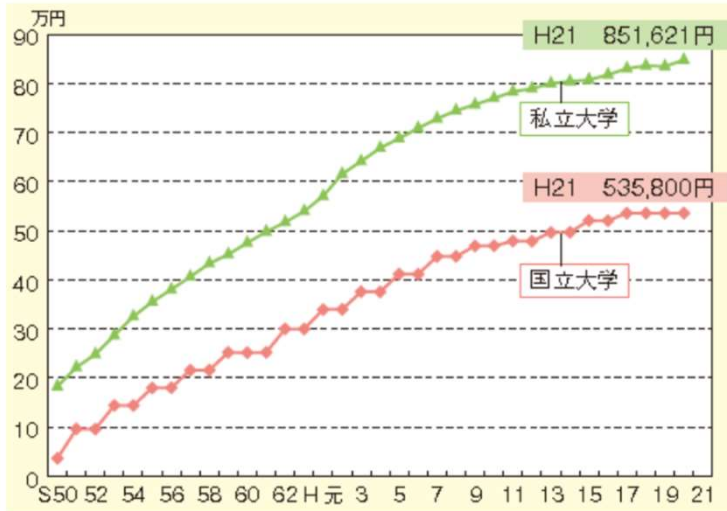
- 短期的な値動きはどうか予想することは困難だが、株式や債券への投資は長期的にはプラスのリターンをもたらした。
- 値動きの大きいものは長期的なプラスは大きくなる傾向がある。一方、値動きが小さいものは長期的なプラスも小さくなる。

値動きは“あるもの”と、と理解し継続することが成果に結びつくという特徴が理解できますね。

ちょっと気になるお金のコラム

インフレとは、モノやサービスの値段が上がり続ける状態のことです。

デフレと言われる日本でも教育費などは上がっていますね（文部科学省HPより）。



日本の教育費もかなり値上りしていますが、海外には信じられないようなインフレの国があります。

インフレ率 13779%！！

これは今年5月にベネズエラの国会が発表した4月のインフレ率（年率換算）です。10000%と言うことは、年に物価が100倍になるということです。

バラマキ政策や価格統制によって国内製造業が衰えたところに国際原油価格の低迷や米国による経済制裁などで外貨不足に陥ったことが原因とされています。

食料不足から約3割の国民は1日の食事が2回以下で、約75%が体重を平均19ポンド（約8.6キロ）減らしたそうです。また、昨年末には、政府からのクリスマス用豚肉の供給がなかったことをきっかけに、市民による抗議デモも起きました。（今年1月の産経ニュースより一部引用）

人類史上最大のインフレは？

1946年のハンガリーのインフレとされています。最悪期の物価は約15時間で2倍になったそうです。

朝400円だったコーヒーが夕方には800円！！ということでした。

パーセントで表すと、96万垓（がい）%とされています（96万の後に0が20個）。

ハンガリーの郵便料金の推移

（ペンゴ=当時のハンガリーの通貨）

1945年5月：1ペンゴ

1945年7月：3ペンゴ（2か月で3倍）

1946年1月：600ペンゴ（6ヶ月で200倍）

1946年3月：2万ペンゴ（2か月で33倍）

1946年5月：200万ペンゴ（2か月で100倍）

1946年7月：40兆ペンゴ（2か月で2000万倍）

小額紙幣では役に立たずハンガリー政府は高額紙幣を発行しました。この時に発行された、1垓（がい）ペンゴ札が歴史上もっとも高額な紙幣とされています。

1垓（がい） = 100,000,000,000,000,000,000

日本のインフレは？

ベネズエラやハンガリーには及びませんが日本でもインフレの時期がありました。

1973年	1974年	1975年
11%	23%	11%

3年で物価が1.5倍、オイルショックの時代です。石油の供給不足からの連想で、多くの人がトイレットペーパーの買い占めに走りまわりました。

NHKアーカイブにその時の映像があるのでご興味がある人方はご覧ください。

https://www2.nhk.or.jp/archives/tv60bin/detail/index.cgi?das_id=D0009030120_00000

（検索 → NHKアーカイブス トイレットペーパー）

今の日本では、ここまでのインフレを想定する必要はなさそうです。ただし、老後資金準備など長期の資産形成ではインフレも考慮した準備を検討しておいたほうが良いかもしれませんね。

お金のこと、年金のこと、保険のこと、 すっきりしたい方、安心したい方は無料FP相談をご利用ください

- ✓ 保険料を払いすぎているか確認したい
- ✓ 自分が加入している保険がどのような時にでるのか確認したい
- ✓ 年金がいくらぐらいもらえるのか知りたい
- ✓ 年金が不安だがどのように準備したらよいか知りたい
- ✓ 火災保険や自動車保険のお得な入り方を知りたい
- ✓ 確定拠出年金の商品選びについて教えて欲しい
- ✓ その他



このようなことで少しでも気になることがある場合はご相談ください。ニュースレター会員の方向けに無料でFP相談を行っています。

ご相談事例

- 昔に入った生命保険を見直して毎月の保険料が大幅にダウン。
- 年金定期便の見方がわかり、具体的に老後資金準備のイメージがつかめた。
- 最近の医療制度や医療技術に合わせた保険に変更でき安心した。

FP無料相談 お申込

ご確認したい項目に、必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。折り返しご連絡を差し上げます。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 生命保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金定期便の見方 |
| <input type="checkbox"/> 加入生命保険の内容を確認したい | <input type="checkbox"/> 老後資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> がん保険・先進医療保険について | <input type="checkbox"/> 教育資金の準備について |
| <input type="checkbox"/> 損害保険のお得な入り方 | <input type="checkbox"/> 年金商品の選び方 |
| <input type="checkbox"/> その他 | <input type="checkbox"/> 確定拠出年金の商品選びについて |

お名前

電話番号

メール

 (ブロック体でご記入ください)

勤務先

お役職

お問い合わせフォームはこちら⇒
<http://fp-matsumoto.com/contact/>



↓ FAX:050-3730-0380 ↓

個人情報の利用目的：当該サービスを提供。当社サービスのご案内